

建築系学生奨励事業

第15回 卒業設計コンクール展 開催

埼玉建築設計監理協会の法人化30周年を機に始まった卒業設計コンクール展は、一般社団法人へ移行した協会の主要な活動として位置づけられています。コンクーは、その趣旨に賛同いただいた多くの企業・団体、共催・協賛団体の協力により、埼玉会館を会場に4月12日(土)から16日(水)迄の5日間にわたり盛大に開催されました。

今年は、10大学から選抜された30名の力作が会場いっぱいに表示されました。4月14日には上田清埼玉県知事がご来場になり、受賞した参加者から作品について説明を受け、知事としての観点から質問をされました。



◆開催趣旨

都市や建築デザインにもICT革命時代にふさわしい斬新な発想が求められている。そのような中、新しい世紀の第一線で活躍が期待される建築系学生の能力向上、育成を図る目的で、次代を先取りした意欲ある作品を広く募集し、若い学生達の考えた創造価値と熱意を奨励し、また一般の方々にアピールを行う。

◆日程

展示場所 埼玉会館 第3展示室 さいたま市浦和区高砂 3-1-4
展示期間 平成27年4月11日(土) 13:00~15日(水) 15:00迄
審査日時 平成27年4月12日(日) 12:00~
表彰式・懇親会 平成27年4月12日(日) 16:00~



受賞者のみなさん



上田知事に作品を説明



審査風景



審査風景



懇親会

■実施概要

対象

都市や建築デザインをテーマとした個人作品の卒業設計を対象とし、各学校3作品以内とする。
埼玉賞に関しては各大学3年生以下の応募も可能。

テーマ

各人の選定したテーマとする。また、地元「埼玉」について積極的に考え、課題を掘り起こした作品を「埼玉賞」として設けた。

参加要請校（順不同）

- ・工学院大学・埼玉大学・芝浦工業大学・東京電機大学・東京理科大学・東洋大学・東京藝術大学
- ・日本工業大学・日本大学・武蔵野美術大学・ものづくり大学

審査方法

公開審査で行う。質疑応答を含め一人5分のプレゼンテーションを行い、その上で各審査委員の持点で採点し当日決める。

賞について

- | | |
|-----------------|--|
| 最優秀賞 | 1 作品…最も優れた作品（副賞として海外研修旅行目録・30万円相当）、
（さいたま住宅検査センターの目録含む） |
| 優秀賞 | 2 作品…優れた作品（副賞として10万円相当の目録） |
| 埼玉賞 | 1 作品…埼玉を題材とした最も優れた作品（副賞として10万円相当の目録） |
| 準埼玉賞 | 1 作品…埼玉を題材とした優れた作品（副賞として5万円相当の目録） |
| 特別審査員賞 | 3 作品…各大学の先生による審査とする（副賞として3万円相当の目録） |
| さいたま住宅検査センター賞 | 1 作品…住宅を題材とした優れた作品（副賞として10万円相当の目録） |
| さいたま住宅検査センター参加賞 | 適 宜 |
| 総合資格学院賞 | 1 作品…社会に飛び出す若駒のエネルギッシュな作品
（副賞として5万円相当の目録） |
| JIA埼玉賞 | 2 作品…優秀な提案、建築家に相応しい作品
（卒業設計を行った年度の大学学科の所在地が埼玉県内である応募者
の中で優れた作品は、本人の意思を確認の上、JIA 主催全国学生卒業
設計コンクールに2作品程度推薦する。） |
| 奨励賞 | 適 宜 |

審査員

芝浦工業大学（審査委員長）	衣袋 洋一 先生	協会会長	桑子 喬
//	澤田 英行 先生	相談役	高岡 敏夫
日本工業大学	金野 千恵 先生	//	片渕 重幸
東洋大学	岡本 和彦 先生	担当副会長	田中 芳樹
東京理科大学	常山 未央 先生	副 会 長	長谷部 常美
東京電機大学	松下 希和 先生	//	神田 廣行
武蔵野美術大学	鈴木 明 先生	委 員 長	高梨 智浩
工学院大学	木下 庸子 先生	委 員	山田 慎一
日本大学	北野 幸樹 先生	//	斎藤 文博
ものづくり大学	藤原 成暁 先生	//	村山 隆之
埼玉大学	大熊 久夫 先生	//	井上 忠孝
埼玉県都市整備部建築安全課	五味 昭一 課長	//	菅野 高宏
（一社）日本建築学会埼玉支所	時田 芳文 支所長	//	佐々木 到
（公社）日本建築家協会JIA埼玉	鶴崎 健一 会長	//	村田 行庸
（一社）埼玉建築士会	黒須 弘年 副会長	//	徳永 茂
（一社）埼玉県建築士事務所協会	浅野 正敏 副会長	//	原口 剛
（一社）埼玉県建設産業団体連合会	新井 康夫 常務理事		
（一財）さいたま住宅検査センター	岩崎 宏 理事		

主催

- （一社）埼玉建築設計監理協会
共催 （一社）日本建築学会埼玉支所、（一社）埼玉建築士会、（一社）埼玉県建築士事務所協会
（公社）日本建築家協会埼玉地域会（JIA 埼玉）、（一社）埼玉県建設産業団体連合会
（一財）さいたま住宅検査センター

協賛

- （一社）埼玉県建設業協会、（一財）埼玉県建築安全協会、総合資格学院 大宮校・越谷校・川越校
松坂屋建材(株)、TOTO(株)、生和テクノス(株)、大野建設(株)、スミダ工業(株)、(株)田中工務店
(株)佐伯工務店、(株)八洲電業社、(株)蓮見工務店、小川工業(株)、日建学院 埼玉支店・川越支店・熊谷支店

後援

- 埼玉県 さいたま市 テレビ埼玉

■受賞者ならびに出品者

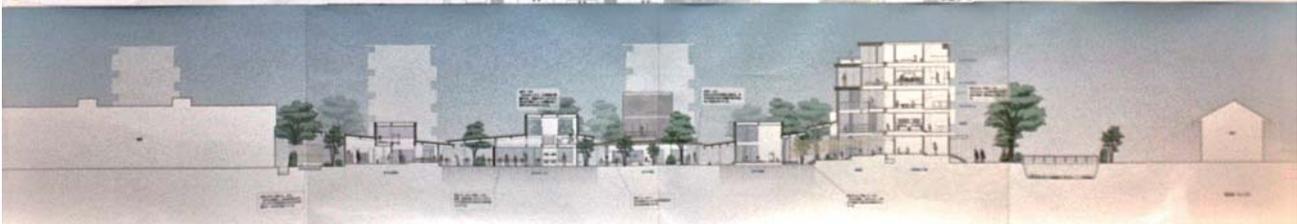
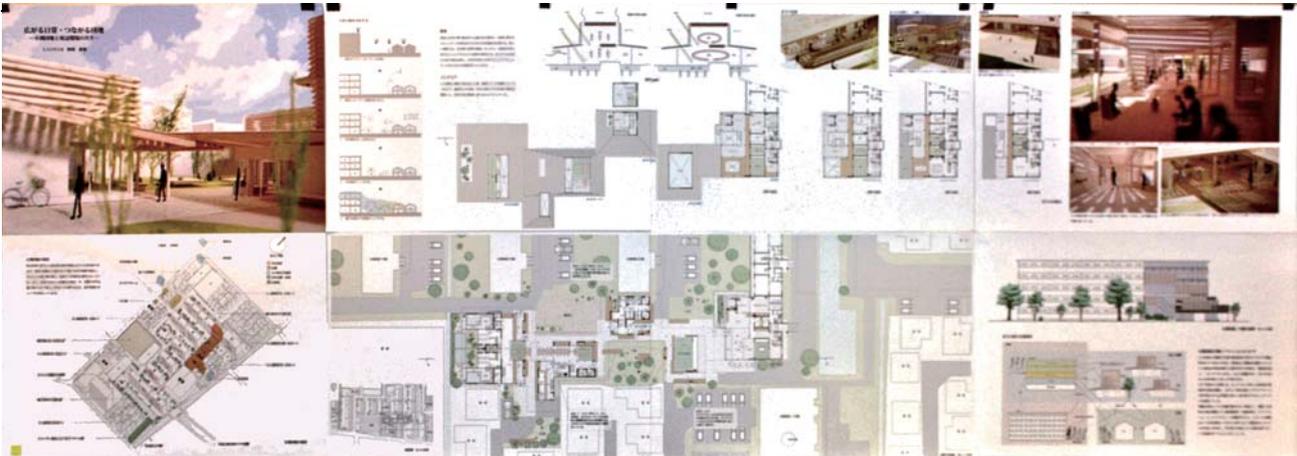
最優秀賞 埼玉賞	岡部 彰寛	日本工業大学工学部生活環境デザイン学科 広がる日常・つながる団地 —小洲団地と周辺環境の共生—
優秀賞 さいたま住宅検査センター賞	三枝晋太郎	芝浦工業大学システム理工学部環境システム学科 裏へ誘（いざな）う —林業と生きる山村住民の生活モデルの提案—
優秀賞 JIA埼玉優秀賞	追川 健吾	東京電機大学未来科学部建築学科 0.0001%の潤い
準埼玉賞	岩野 健一	ものづくり大学技能工芸学部建設学科 循環する箱へ —上尾シロバト住宅を事例とした団地再生モデルの提案
特別審査員賞 総合資格学院賞	原 昇吾	日本工業大学工学部建築学科 「水車と共に循環する町」in宮代町 —環境循環型農業建築の設計—
特別審査員賞	小松 恭士	工学院大学建築学部建築デザイン学科 賑わいの提灯たらら
特別審査員賞	影山 真平	東京理科大学理工学部建築学科 連続立体交差事業に伴う新たな駅の提案 —800mの一筋に春日部の未来を描く—
特別審査員賞	小谷 栄人	武蔵野美術大学造形学部建築学科 なぜ住む なぜ生きる なぜつくる そんなしがらみを そんな社会を そんな自分を 抜け出す為に 僕は×× する
JIA埼玉最優秀賞	臼田 英里	工学院大学建築学部建築デザイン学科 よりどころ
JIA埼玉優秀賞 総合資格学院賞	西潟 俊	ものづくり大学技能工芸学部建設学科 FIREWORKS～街を繋ぎ人を繋ぐ“雪国の広場”～
JIA埼玉優秀賞	大門 博美	東洋大学理工学部建築学科 TOY STREET-まちの小さな目安箱-
	柳沼 雄佑	芝浦工業大学システム理工学部環境システム学科 「集落の片影」
	渡邊有理恵	芝浦工業大学システム理工学部環境システム学科 際目の編集
	本間 建成	東洋大学理工学部建築学科 霧と雫の境界線
	有澤 雄介	東洋大学ライフデザイン学部人間環境デザイン学科 住都市Twitter —絡み合い、連鎖していく生活風景-
	石塚 亮佑	東洋大学ライフデザイン学部人間環境デザイン学科 穿たれた都市は呼吸する
	木下 雄貴	東洋大学ライフデザイン学部人間環境デザイン学科 あかるい統廃合 来たる時代に向けた初等中等三学校モデルの提案
	須賀川雄哉	日本工業大学工学部生活環境デザイン学科 地域を支える市場～日立市みなと町復興計画～
	井黒 彬	東京理科大学工学部Ⅱ部建築学科 機能主義の抜殻
	山口 剛	東京理科大学工学部Ⅱ部建築学科 —戸の住宅を変える為の建築
	飯田 貴大	東京電機大学未来科学部建築学科 杣ノ郷園
	中西 海人	東京電機大学理工学部建築環境都市学科 明暗
	林 拓弥	東京電機大学理工学部理工学科 学生寮×団地
	神農早生里	武蔵野美術大学造形学部建築学科 結び目 - 海に浮かぶ島、散骨葬斎場のある公園 -
	津金 愛理	武蔵野美術大学造形学部建築学科 風景の階調
	中里 麻衣	日本大学生産工学部建築工学科 職住 SHARE HOUSE
	吉崎 萌	日本大学生産工学部建築工学科 水の記憶
	照沼 翔平	日本大学生産工学部創生デザイン学部 地域に育てられ 地域を育てる場
	高橋 和誠	ものづくり大学技能工芸学部建設学科 すてっぴなかみせ・・・駅と祭り広場を繋ぐまちづくり

奨 励 賞

最優秀賞
埼玉賞

日本工業大学工学部生活環境デザイン学科 岡部 彰寛
広がる日常・つながる団地 —小淵団地と周辺環境の共生—

埼玉県春日部市の小淵団地は、同じ街区にミニ開発で建てられた住宅や倉庫が混在し、また地域との間に空間的な境界がある。本計画では、団地と住宅の間にある空間的な境界を取り除き、住空間の居間や書斎、キッチン、お風呂を外へ持ち出し、シェアする共用施設を計画した。建物の間は庇や土間、縁側といった要素によってつながり、屋根の外観は春日部市の工芸品の麦わら帽子をモチーフにデザインした。建物の住人は自由に日常の場を拡張することで他者との間に自分の居場所をつくり、団地と周辺環境をつなぐネットワークの拠点がつくられる。



優 秀 賞

さいたま住宅検査センター賞

芝浦工業大学システム理工学部環境システム学科

三枝 晋太郎

裏へ誘（いざな）う - 林業と生きる山村住民の生活モデルの提案 -

長野県木曾郡大桑村。ここはかつて林業と宿場町で栄えた山間の町。しかし現在は少子・高齢化が進む町になってしまった。
そこで私はこの地に既存の文化や暮らし、産業をプログラムに組み込みつつ、環境を考慮した町をつくり、林業の復活の第一歩にする。



優 秀 賞

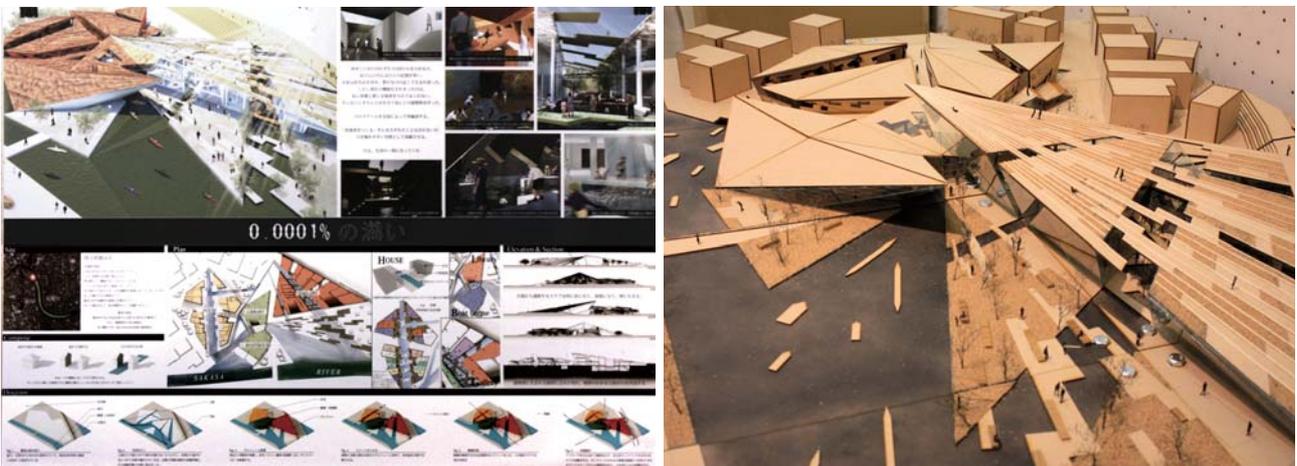
JIA 埼玉優秀賞

東京電機大学未来科学部建築学科

追川 健吾

0.0001%の潤い

私の心の中には川との記憶が多い。
実家は釣具店を営み、越谷の逆川の近くで生まれ育った。
しかし現在の機能化されきった川は、私に故郷と感じる風景を与えてはくれない。
そんな川ときちんと向き合う為にこの建築物を作った。
「原風景をつくる」そんな大それたことは言わないが、川に触れやすい空間として体験させてあげるように今ある川に少し支流を引き、スケールを暮らしに近づける。
そうすることで、心の中に川が流れると信じている。



準埼玉賞

ものづくり大学技能工芸学部建設学科
岩野 健一

循環する箱へ - 上尾シラコバト住宅を事例とした団地再生モデルの提案

上尾シラコバト住宅(団地)は1967年に初の国体選手村として豊かな土地を整備建設され、現在は県の特別県営住宅として使用されている。しかし、建物の老朽化、ライフスタイルの移行や核家族による諸問題がここ上尾シラコバト住宅のみならず出てきている。

本計画では、団地が抱える問題を「ヒト」と「モノ」の両面から整理し、「閉塞した状況から循環する箱へ」

- ① 地域を開く ② 住棟を開く ③ 住戸を開く
- をテーマに新たな団地再生モデルを提案する。



特別審査員賞
総合資格学院賞

日本工業大学工学部建築学科
原 昇吾

「水車と共に循環する町」 in 宮代町 ー環境循環型農業建築の設計ー

現在、埼玉県宮代町では「農のあるまちづくり」の理念のもと「新しい村」を中心に活動している。

しかし、その実態はあまり知られておらず、有機農業に至っているのか分からない。そこで、「新しい村」を調査し環境に配慮された環境循環型農業建築(農業研修施設・生ごみ堆肥化小屋・水車小屋)を設計した。この設計を通じて、宮代町が有機農業を推進して、循環する町への第一歩となることを目指している。



特別審査員賞

工学院大学建築学部建築デザイン学科
小松 恭士

賑わいの提灯たら

一度は衰退したたら製鉄。以前は人と環境に持ちつ持たれつの関係であったが、復活した姿は隔離された場所で地域との関係が途切れていた。本提案では4つプログラムが地域とたらの仲介となり、たたらを本来の姿へ戻す



特別審査員賞

東京理科大学工学部建築学科
影山 真平

連続立体交差事業に伴う新たな駅の提案 —800mの一筋に春日部の未来を描く—

私の故郷 春日部において現在計画中の連続立体交差事業に伴った新たな駅の提案です。
連続立体交差事業によって、市街地に新たにできる800mの空間にまちの未来を描きます。
人を寄せ付けない高架下空間を、まちの賑わいを創出する広場へと変え、さらに、まちに対してブラックボックスとなっている駅を広場へと開放します。
”橋上駅”という工作物を建築し駅・広場・土木が三位一体となった複プレックスを提案します。



特別審査員賞

武蔵野美術大学造形学部建築学科
小谷 栄人

なぜ住む なぜ生きる なぜつくる そんなしがらみを そんな社会を そんな自分を 抜け出す為に 僕は ×× する

環境との対話と内省を繰り返して建築をつくる。
しがらみ。しがらみ。しがらみ。この作品は私の建築でもあり、私の物語でもあります。
最初に純粋な建築たる空間とは、建築の作り出す空間とはなにかを考えたことが始まりでした。
人間がその場所とインタラクティブにその関係性を持った瞬間にふっと建築が現れてくると信じて。
私はとてあえず建築の言語で埋め尽くされている製図室を出ることにします。しがらみから抜け出したくて。



J I A 埼玉最優秀賞

工学院大学建築学部建築デザイン学科
臼田英里

よりどころ

地方の中心市街地は商店の衰退により町に人の賑わいの場が消え、近年建築も人も自分だけの壁を作り人との関わりは薄さを増すばかり。
この現状の積み重ねは将来大きな問題になることを懸念する。町の高齢者から人々との日常的な繋がりを持つことの大切さを若者は肌で感じる事の出来る「拠りどころ」であり「寄りどころ」となる町の人々の生活に寄り添った居場所をつくる。



J I A 埼玉優秀賞
総合資格学院賞

ものづくり大学技能工芸学部建設学科
西潟 俊

FIREWORKS ～街を繋ぎ人を繋ぐ“雪国の広場”～

長岡市生まれの私は、新旧の長岡駅を長く利用してきたが、いくつかの問題点を感じていた。地方都市の駅は、交通機能が優先され、街の文脈と遊離してつくられる場合が多い。長岡駅は、単なる交通の結節点ではなく、たくさんの人々の「出会いと別れ」を見守ってきた「ふるさとの玄関」であり、「出会いを演出する舞台」であると考えている。長岡の3つのキーワード「信濃川・大橋・長岡花火」をテーマとした「街と人を繋ぐ雪国の広場」を目指した。



J I A 埼玉優秀賞

東洋大学理工学部建築学科
大門 博美

TOY STREET - まちの小さな目安箱 -

- ・近年の交通の発達により、人々の生活からとり残されてしまった中心市街地に新たに計画される交通の電停を想定し、電停前から、まちなかへ人を引き込む装置として、子どもたちの体験型学習施設を提案する。
- ・まちの仕事を体験する施設は、周辺のまちを写した小さな案内板となり、地域を考える機会が生まれ、まちの目安箱としての役割が機能することでまちが変わるきっかけをつくる。



奨励賞

